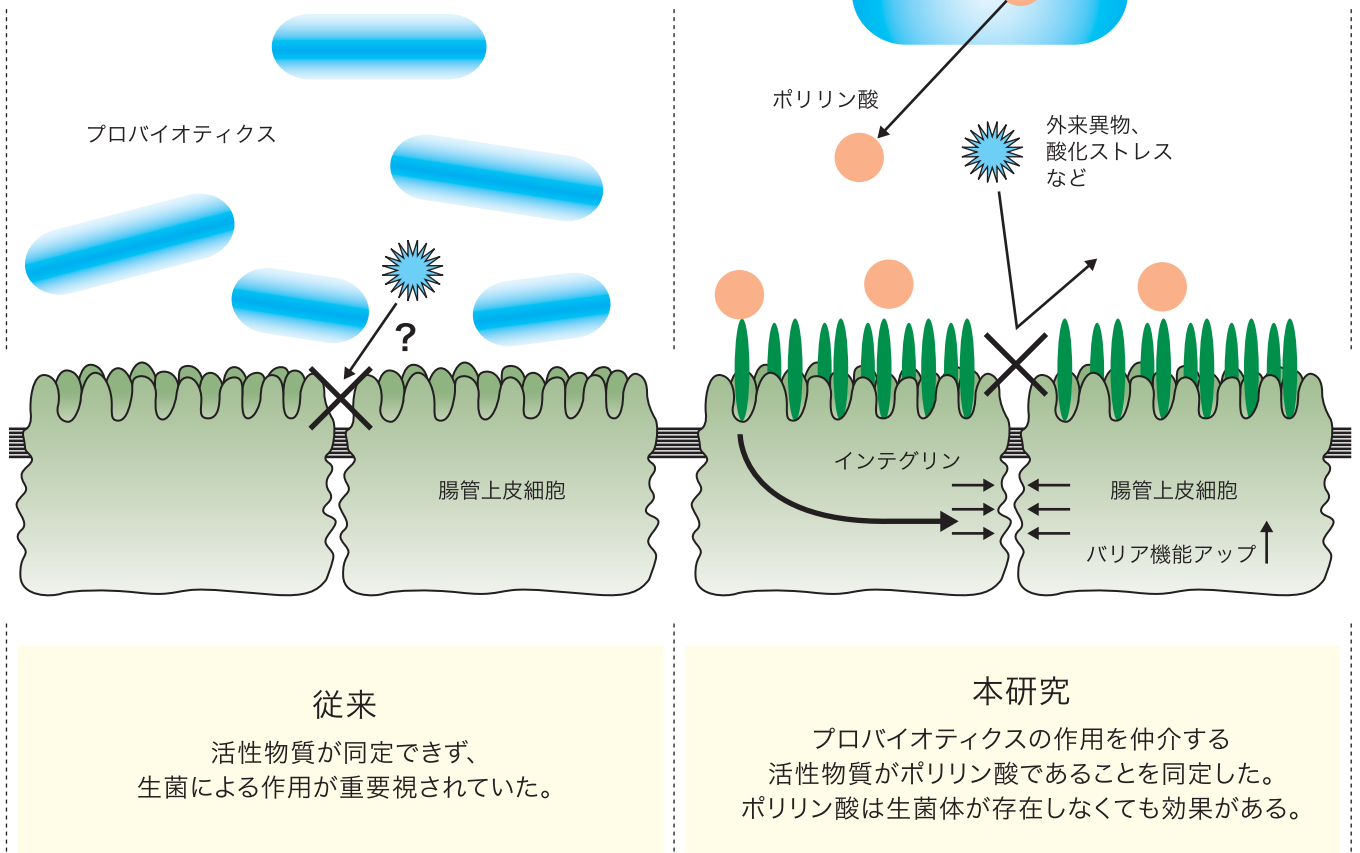


## 「ポリリン酸」によるプロバイオティクス効果



サッポロビール社ニュースリリースより一部改変

## 麦芽乳酸菌

# 03



腸管上皮の  
バリア機能を高める  
麦芽乳酸菌「SBL88」

乳酸菌が分泌する  
ポリリン酸に  
細胞を保護する  
特性を発見！

麦芽乳酸菌「SBL88」は、通常の乳酸菌に比べ栄養の少ない環境下でも生存可能な生理活性の強い乳酸菌である。旭川医科大学の研究グループとサッポロビール(株)は、SBL88由来の機能性活性物質が腸管上皮のバリア機能を高めることに着目。共同研究により、その活性成分の探索に取り組み、乳酸菌が分泌するポリリン酸にプロバイオティクス効果があることを世界で初めて突き止めた。ポリリン酸は、乳酸菌体内で生産されるため、乳酸菌が腸に届くまでに死滅しても、残存するポリリン酸によってプロバイオティクス効果が期待できる。さらには、ポリリン酸自身を利用することも視野に入れた、幅広い食品開発への応用が可能となる。具体的な研究成果として、酸化ストレスによる腸管バリア機能の障害に対し、ポリリン酸は強い予防・改善効果を発揮することが、マウス正常腸管を用いた実験で証明されている。研究成果を活かした商品開発に大きな期待が寄せられている。



基盤となった研究テーマ

麦芽乳酸菌の腸管組織に対する  
生理活性の解明と健康食品開発

旭川医科大学医学部  
教授  
高後 裕  
Yutaka KOHGO, MD., Ph.D.

\*1 プロバイオティクス効果  
腸内細菌の排除、免疫力の亢進、  
腸のバリア機能向上などを指す。

問い合わせ先

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター  
知的クラスター本部事務局

札幌市北区北21条西11丁目  
北海道大学 北キャンパス総合研究棟3号館(旧北大プロジェクト研究棟)2階  
<http://www.bio-sss.jp/>

